

目標達成計画

作成日: 平成 26年 3月 6日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	1 (1)	利用者とスタッフとの共同作業と掲げているが、自分の身の回りのこともままならない人がほとんどの状態である。	その人ができることを探す。	個別にその人に合った作業を見つけ、楽しく続けられるようにスタッフ間で話し合い、共同作業に取り組む。	年間目標
2	4 (3)	運営推進会議の議事録に参加者名が第三者でもわかるように記載する。	参加者の関係を明確にする。	次回の運営推進会議より参加者がどこの誰かわかるように記載していく。	短期
3	20 (8)	入所時は訪問者もあったが、長くなると次第に途切れてくる。	今まで訪問してくれた人に訪問して頂くようにはたらきかける。	今まで訪問されていた知人の方も高齢になり、来るのが困難になっているので電話や手紙で近況報告をしたり駅や家まで迎えに行き面会を増やしていく。	年間目標
4	29	裏の畑に野菜を作っているが作業をできる人がいない。	収穫時は畑のそばに行き喜びを分かち合う。	季節を感じてもらい、手に取り触れて収穫を楽しむ。	その都度 収穫時

5	35	特に夜間の災害時、避難できる方法を身につける。	全員避難。	自分で動ける人が少ない為、いかにスムーズに避難させるか日頃より入所者の状態、通報等の把握を徹底していく。	年間目標
6	49 (18)	利用者の高齢化が進むにつれ、以前のような外出ができにくい状況がある。	短時間でも外出できるようにする。	車椅子を使い近くの公園や小学校等、個別に外出できるよう職員で話し合い、楽しみを増やしてもらう。	年間目標